

《計報》

黒田俊夫元人口問題研究所所長の逝去

旧人口問題研究所（現国立社会保障・人口問題研究所）の元所長 黒田俊夫先生には、平成18年12月30日、心不全のため97歳にて逝去されました。ここに生前の国内外における人口問題研究への献身的な貢献と人口学の発展のためにご尽力されましたことに改めて感謝申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

黒田元所長は、昭和22年に旧厚生省人口問題研究所に入所され、昭和51年6月に所長職を辞されるまで35年間にわたり、国内の人口問題のみならず世界の人口問題の研究とその発展に寄与されるとともに多大な業績を残されてきました。また、人口問題研究所を辞された後もその活動はなお一層広く展開されてきました。昭和54年には日本大学人口研究所創設にともないその初代所長に就任され、さらにその後も同研究所顧問・名誉所長としてご活躍になりました。また、平成11年から家族計画国際協力財団（ジョイセフ）理事長、その後同会長を亡くなられるまで務められました。

先生の研究業績は人口問題研究の全ての領域にわたっていますが、とくに昭和30年前後に機関誌『人口問題研究』において展開された「高齢化現象の人口学的研究」は、わが国の人口高齢化問題に対する先見的なもので、日本の高齢化人口学の基礎を確立されました。その後米国プリンストン大学やフランス国立人口研究所においても研究活動をされ、研究の舞台はより国際的なものとなりました。

Uターン、Jターンなどの用語は、黒田先生の人口移動研究のなかから生まれ、また、人口動態上の一大変化である多産多死から少産少死への変化を「人口転換」と訳出されたのも先生であるといわれています。先生の研究領域は、人口移動研究、寿命研究、世代間扶養研究といったように多岐にわたりますが、複雑な人口現象を抽象化されたときの用語の平易性、簡潔性、浸透性には卓越した才能を示されています。なお、先生は昭和49年に経済学博士（慶應義塾大学）の学位を取得されましたが、その主著『日本人の転換構造』は、社会・経済・文化・人口の「転換構造」の体系化を結実させたものです。

黒田先生の特筆すべき才能は、国際連合を中心とする国際的な広がりをもった活動においても発揮されました。すなわち、昭和30年代半ばから、国際人口学会、国際家族計画連盟、世界保健機関、国連アジアおよび極東経済委員会（現国連アジア太平洋地域委員会）等の会議やセミナーに専門家として、あるいは、アジア人口会議、世界人口会議（現国際人口開発会議）の政府代表委員として出席され、人口専門家としての幅広い活躍をされました。こうした世界における人口問題に対する長年の貢献に対して、平成9年に国際連合から「国連人口賞」が授与されています。（高橋重郷）

略 歴

明治42年11月8日 兵庫県姫路市に於いて出生
昭和6年3月 東京商科大学商学専門部卒業
昭和6年4月 支那経済事情研究会入会
昭和8年4月 東京商工会議所入所
昭和11年3月 日本大学商経学部経済学科卒業
昭和14年4月 上海中支那軍票交換用物資配給組合入所
昭和22年9月 厚生省人口問題研究所入所
昭和28年3月 東京商科大学専攻科修了
昭和30年11月 アジアおよび極東人口に関する国連セミナー出席

昭和31年7月 アメリカ、プリンストン大学人口研究所留学（昭和32年9月30日まで）

昭和31年8月 フランス国立人口研究所にて研究（フランス政府招聘による）

昭和34年9月 パキスタン家族計画連盟 後進諸国の人口増加の諸問題と家族計画に関するセミナー出席

昭和35年9月 世界保健機構（WHO）遺伝ならびに放射能研究のための人口動態統計ならびに疾病統計の利用に関するセミナー出席

昭和36年8月18日 資源調査会専門委員就任

昭和37年4月1日 東京都総合開発審議会専門委員就任

昭和38年5月 国際家族計画連盟（IPPF）第2回西太平洋地域セミナー出席

昭和38年12月 国際連合アジアおよび極東経済委員会（ECAFE）第1回アジア人口会議 日本政府代表

昭和39年2月13日 中央社会福祉審議会臨時委員就任（昭和43年7月15日まで）

昭和39年3月 パキスタン家族計画連盟 パキスタンの人口変動に関する全国セミナー出席

昭和39年6月 日本人人口学会監事就任

昭和40年6月15日 経済審議会臨時委員就任

昭和40年8月 国際連合主催世界人口会議（ユーゴスラビア）出席

昭和41年11月11日 コロンボ計画協議委員会第17回会議 日本政府代表代理を拝命（昭和41年12月9日まで）

昭和41年11月 国際連合主催 新地域人口センター設置討議のための専門家委員会出席

昭和42年5月 国際連合アジアおよび極東経済委員会（ECAFE）人口移動と都市化の諸問題に関する専門家作業グループ国際会議出席

昭和42年8月 オーストラリア大学人口学部主催 人口専門家養成に関するキャンベラ会議出席

昭和42年9月19日 国民年金審議会専門委員併任

昭和42年10月23日 第14回国際連合人口委員会委員（昭和42年11月22日まで）

昭和43年2月1日 厚生省人口問題研究所人口移動部長

昭和43年2月10日 人口問題審議会専門委員併任（昭和49年9月17日まで）

昭和43年3月 東アジア太平洋地域研究機関連合（ODA）作業部会出席

昭和43年5月 アメリカ人口研究協会（Population Council）、中華民国婦幼衛生協会、中華民国政府共催 東亜人口検討会議 日本政府代表

昭和43年6月 東アジア太平洋地域研究機関連合（ODA）シンガポール会議出席

昭和43年12月 ハワイ東西センター人口研究プログラム国際諮問委員会出席

昭和43年11月 日本老年社会科学会理事就任

昭和44年 国際人口学会（IUSSP）人口教育・訓練委員会委員（昭和48年まで）

昭和44年5月 太平洋学術会議マレーシア中間会議出席

昭和44年10月 日本政府 インドネシア人口・家族計画協力実施調査団参加

昭和45年1月1日 国際連合人口委員会 日本政府代表

昭和45年7月 日本人人口学会理事就任

昭和45年10月 国際家族計画連盟（IPPF）第2回西太平洋地域会議出席

昭和45年12月 経済協力開発機構（OECD）第3年次人口会議出席

昭和46年2月 ハワイ東西センター人口研究プログラム国際諮問委員会出席

昭和46年2月 国際労働機関（ILO）アジア労働力会議第2回運営委員会出席

昭和46年8月 日本政府主催 国際家族計画広報活動セミナー講師

昭和46年11月 第16回国際連合人口委員会 日本政府代表

昭和47年 1月 東アジア太平洋地域研究機関連合（ODA）作業部会出席

昭和47年 1月 ハワイ東西センター人口研究プログラム国際諮問委員会出席

昭和47年 5月11日 厚生省人口問題研究所人口政策部長

昭和47年 5月30日 国際連合人間環境会議 日本政府代表代理を拝命（昭和47年 6月28日まで）

昭和47年 8月 1日 厚生統計協議会委員併任

昭和47年 8月 4日 国際連合人口委員会第 1回特別会期（世界人口会議準備会）日本政府代表（昭和47年 8月20日まで）

昭和47年10月 アメリカ人口研究協会（Population Council）主催 人口政策の各国の発展に関する国際会議出席

昭和47年12月 東アジア太平洋地域研究機関連合（ODA）作業部会出席

昭和48年 1月 California Institute of Technology, Caltech Population Program 人口圧力認識と政策に関する国際会議出席

昭和48年 2月 ハワイ東西センター人口研究プログラム国際諮問委員会出席

昭和48年 3月 国際連合人口委員会第 2回特別会期（世界人口会議準備会）日本政府代表

昭和48年10月 第17回国際連合人口委員会 日本政府代表

昭和48年11月16日 統計数理研究所評議員会評議員就任（昭和50年11月15日まで）

昭和49年 1月 1日 国際連合人口委員会第 3回特別会期（世界人口会議準備会）日本政府代表（昭和49年 3月20日まで）

昭和49年 5月 国際連合アジアおよび極東経済委員会（ECAFE） 世界人口会議に関するエカフェ地域協議会出席

昭和49年 6月 5日 厚生省人口問題研究所所長

昭和49年 6月15日 学術審議会専門委員就任（昭和51年 1月24日まで）

昭和49年 6月25日 医療審議会委員就任（昭和51年 8月12日まで）

昭和49年 7月 5日 統計審議会委員就任

昭和49年 7月22日 海外移住審議会委員就任

昭和49年 7月30日 国際連合主催 第 3回世界人口会議 日本政府代表代理（昭和49年10月 4日まで）

昭和49年 9月 経済学博士（慶應義塾大学）

昭和49年 9月17日 人口問題審議会委員併任（昭和52年 4月30日まで）

昭和49年10月 1日 国立遺伝学研究所評議員会評議員就任（昭和52年 5月31日まで）

昭和49年10月28日 統計審議会委員就任

昭和49年11月15日 栄養審議会委員就任

昭和50年 1月 国際連合アジア西太平洋地域経済社会委員会（ESCAP） エスカップ地域の世界人口会議事後協議会出席

昭和50年 2月 第18回国際連合人口委員会 日本政府代表

昭和50年 8月 第13回太平洋学術会議 日本側代表

昭和51年 4月 日本大学経済学部教授

昭和51年 5月11日 厚生省人口問題研究所所長辞職

昭和51年 5月25日 人口問題審議会委員就任（昭和54年 4月30日まで）

昭和54年 4月 日本大学人口研究所創設にともない所長就任

昭和54年 6月 1日 人口問題審議会委員就任（昭和56年 5月31日まで）

昭和55年 6月14日 日本人口学会会長就任（昭和57年 6月 4日まで）

昭和55年11月 日本大学人口研究所顧問・名誉所長
 昭和56年7月20日 人口問題審議会委員就任（昭和58年7月19日まで）
 昭和57年2月 韓国 Don-A 大学 経済学名誉博士
 昭和58年4月 勲三等瑞宝章受章
 昭和58年7月7日 財団法人アジア・人口開発協会理事就任
 昭和59年 日本大学人口問題研究所名誉教授
 昭和59年1月26日 人口問題審議会専門委員就任（昭和61年1月25日まで）
 昭和60年 中国吉林大学名誉教授
 昭和60年4月 社団法人エイジング総合研究センター顧問就任
 昭和61年7月16日 人口問題審議会委員就任（昭和63年7月25日まで）
 昭和63年9月 日本老年社会科学会名誉会員
 平成8年5月9日 財団法人人口問題研究会理事長就任（平成17年11月30日まで）
 平成9年 国連人口賞受賞
 平成11年4月 財団法人家族計画国際協力財団理事長就任
 平成15年5月 社団法人エイジング総合研究センター理事就任
 平成15年7月 財団法人家族計画国際協力財団会長就任
 平成18年12月30日 心不全のため死去

主 要 著 作 物

1. 人口問題研究所刊行物

- (1) 『人口問題研究』掲載
- (2) 『人口問題研究所年報』
- (3) 「研究資料」
- (4) 「実地調査報告資料」
- (5) 「海外参考資料」
- (6) English Pamphlet Series

2. 人口問題研究所以外の刊行物

- (1) 公刊図書
- (2) 公刊図書収載論文
- (3) 日本人口学会
- (4) 人口学研究会関係
- (5) 国連および家族計画国際協力財団（JOICEFP）関係
- (6) 日本大学関係
- (7) アジア人口・開発協会関係（APDA）
- (8) 毎日新聞社人口問題調査会関係
- (9) その他の雑誌収載論文

1. 人口問題研究所刊行物

(1) 『人口問題研究』掲載

〈標題〉	巻号：掲載ページ（刊行年月）
ヘンリー・ウォーレス著「六千萬人の雇傭」Henry A. Wallace, Sixty Million Jobs, 1945	5-10・11・12： 46-60（昭23. 4）
米國社會保障制度の財政經濟的研究（一）－改正提案 H. R. 2893を中心として－	6-2： 48-66（昭25. 9）
米國社會保障制度の財政經濟的研究（二）	7-2： 67-79（昭26. 9）
移民と經濟開發－I.L.O. 移民予備會議を中心として－	7-3： 67-78（昭26.12）
國際移民統計資料	8-1： 51-55（昭27. 7）
高年化現象の人口学的研究(1)	61： 8-62（昭30. 8）
高年化現象の人口学的研究(2)	62： 10-42（昭30.12）
アジアの人口問題－バンドン人口會議に出席して－	63： 50-67（昭31. 3）
結婚パターンの變動とその出生力に及ぼす影響の人口学的分析－出生力決定要因研究プログラムの一環として－	71： 1-23（昭33. 3）
結婚變動の靜態的、動態的觀察－日本における結婚の人口学的分析－	73： 1-38（昭33. 9）
カラチ人口セミナー報告	78： 43-80（昭34.12）
日本人口の出生力に関する研究(1)	80： 1-24（昭35. 9）
日本人口の出生力に関する研究(2)	81： 1-22（昭35.12）
“遺伝学および放射能研究のための人口動態統計ならびに疾病統計の利用に関するセミナー” 出席報告	81： 56-62（昭35.12）
日本人口の出生力に関する研究(3)	82： 18-63（昭36. 1）
地域労働力人口の構造とその變動	92： 23-31（昭39. 9）
人口移動からみたメガロポリスの形成とその問題点（特集 日本メガロポリス（続））	95： 1-10（昭40. 7）
人口移動の現状と研究（第2回国連世界人口會議と人口学の發展(4)）	97： 50-54（昭41. 1）
人口移動の動向と特徴（人口問題研究第100号記念特集 日本人口の構造と變動－下－ IV 移動 1）	101： 1- 6（昭42. 2）
人口移動の要因とその展望（人口問題研究第100号記念特集 日本人口の構造と變動－下－ IV 移動 5）	101： 27-29（昭42. 2）
地域人口の變動パターンからみた未開發地域	103： 1-13（昭42. 7）
「國際人口学会シドニー會議」ならびに「“大学における人口教育の役割”に関するキャンベラ會議」について	104： 49-59（昭42.10）
自然動態の逆轉と人口移動－地域人口變動パターンの分析－「第14回國際連合人口委員會」概況報告	105： 12-20（昭43. 1） 105： 43-51（昭43. 1）
國際的視野からみた日本の人口問題－「人口轉換」を中心として－（特集 日本人口問題）	106： 53-68（昭43. 4）
ハワイ東西センターにおける“ODA”ワークショップと國際諮問委員會	110： 62-71（昭44. 4）
人口移動の轉換仮説	113： 15-30（昭45. 1）
「國際人口学会ロンドン會議」および「國際社会学・都市社会学研究委員會ストックホルム會議」の概況	113： 48-62（昭45. 1）
人口構造論序説－日本人口の年齢構造變動を中心として－	119： 1-12（昭46. 7）

「第16回国際連合人口委員会」概況報告	121 : 47-56 (昭47. 1)
労働力人口の転換と問題点 (特集 労働力人口の動向と問題点)	122 : 35-49 (昭47. 4)
「第2回アジア人口会議」の概況	125 : 60-70 (昭48. 1)
人口研究における政策論の展開	128 : 1-18 (昭48.10)
国連人口委員会第17回会期の概況報告	129 : 54-64 (昭49. 1)
国連世界人口会議報告－混乱から妥協, そして認識へ－	132 : 32-40 (昭49.10)
世界人口会議後におけるエスカップ地域協議会の概要	133 : 43-50 (昭50. 1)
国連人口委員会第18回会期の概況について	134 : 51-59 (昭50. 4)
フィリピン調査:人口・家族計画の分野における国際援助・協力の新しいアプローチを求めて	134 : 60-62 (昭50. 4)
日本列島における地域人口自己再生産ポテンシャルの分布変動－両極化緩和への転換－	135 : 1-12 (昭50. 7)
はしがき (特集 経済・社会環境と人口問題)	137 : 1- 4 (昭51. 1)

(2) 『人口問題研究所年報』

〈標題〉	〈巻号:掲載ページ (刊行年月)〉
人口変動要因としての結婚の動向に関する一研究	3 : 6-20 (昭33. 8)
Regionalism と人口－Demographic Regionalism への接近－	4 : 35-39 (昭34.10)
日本人口出生力の1分析－戦後結婚コーホートの再生産態度の動向－	5 : 54-58 (昭36. 1)
最近における人口移動の動向分析	6 : 19-23 (昭36.11)
人口移動と出生力	7 : 36-40 (昭37. 9)
人口都市化と地域出生力	9 : 30-34 (昭39.12)
メガロポリスの人口学的検討－3大都市圏における人口流動密度の比較－	10 : 4- 6 (昭40.10)
人口移動, 人口地域分布の変動と地域開発	11 : 14-17 (昭41.11)
労働力人口の産業間移動	12 : 21-24 (昭42.10)
日本の人口転換の意義と課題	13 : 1- 4 (昭43.12)
人口地域分布均衡化運動の仮説と人口移動	14 : 33-36 (昭44.10)
人口移動行動の近代化	15 : 26-29 (昭45.12)
年齢構造の変動－人口老年化の重層構造－	16 : 9-13 (昭46.12)
出生力転換論の転換	17 : 12-16 (昭47.12)
人口政策の転換と構造	18 : 1- 4 (昭48.12)
人口政策を求めて	19 : 4- 7 (昭50. 3)
昭和50年代における人口学の課題－政策科学化への方向－	20 : 1- 3 (昭51. 3)

(3) 「研究資料」

イギリス人口委員会報告書－第4部, 要約及び總括的結論－	51 (昭24. 9)
イギリス人口委員会報告書(5)－附録3, 再生産力の測定－	52 (昭24.10)
社会保障に関する外国並びに邦文文献目録	56 (昭25. 5)
社会保障に関する外国並びに邦文文献目録 (追補)	57 (昭25. 7)
米國社會保障制度の研究 (その1)	58 (昭25. 7)
米國社會保障制度の研究 (その2)	60 (昭25. 7)
米國社會保障制度の研究 (その3)	65 (昭25.10)

フランス国立人口問題研究所の組織と研究の概要について	66 (昭25.12)
ニュージーランド社会保障制度	69 (昭26. 3)
P・K ウェルプトン稿「日本における産児制限の概観」(翻訳)	70 (昭26. 4)
社会保障と人口構造	71 (昭26. 7)
ジェンロトロジーに関する文献目録	91 (昭28.11)
死亡構造とその測定に関する研究(1)	84 (昭29. 1)
都市の経済構造と保健度の相関に関する実証的研究	89 (昭29. 1)
高年化人口学の基本問題	104 (昭30. 2)
工業国における出産力の分析 (第1分冊)	126 (昭33.11)
工業国における出産力の分析 (第2分冊)	127 (昭33.11)
人口増加と経済発展との関係に関する研究—最近の A. Sauvy 教授の研究を中心として—	144 (昭37. 2)
フランスにおける雇用予測の研究(1)	148 (昭37. 3)
出生力の構造変動と再生産人口学の発展—欧米諸国における出生力の体制的変動の分析—	152 (昭37.10)
労働力人口の地域人口学的分析 (第1分冊) (内野澄子, 須田トミとの共著)	160 (昭39.11)
アジアにおける人口移動と都市化の展望	188 (昭44. 2)

(4) 「実地調査報告資料」

人口圧迫の集積形態に関する調査報告 昭和35年度 第2巻 零細製造業事業所男子被用者と男子失業者およびそれらの世帯 (須田トミ, 荻野嶋子, 内野澄子との共著)	(昭37. 3)
労働力人口移動実態調査報告 昭和38年度 都市の部 第1巻 東京	(昭39. 3)
人口の移動性と社会的・経済的要因との関係に関する調査報告 昭和43年度 実地調査 第1部 (伊藤達也, 岡崎陽一, 内野澄子との共著)	(昭44. 3)
人口の分布変動と地域経済との関係に関する調査報告 昭和45年度実地調査 (伊藤達也, 清水浩昭, 若林敬子, 内野澄子, 須田トミとの共著)	(昭47. 3)
人口の分布変動と地域経済との関係に関する調査報告 昭和46年度実地調査 [青森県編, 宮城県編, 埼玉県編, 広島県編, 福岡県編, 長崎県編, 鹿児島県編, 首都圏編] (岡崎陽一, 伊藤達也, 清水浩昭, 若林敬子, 内田澄子, 須田トミとの共著)	(昭47. 7-12)

(5) 「海外参考資料」

移民と経済開発 (I・L・Oの移民対策資料)	2 (昭26.12)
ジャン・ロバン稿「日本の人口問題」	3 (昭26.12)

(6) English Pamphlet Series

Trends in Population Growth and Economic Development in Japan. (with Tachi, M.)	49 (1959)
Modernization of Vital Rates in Japan	49A (1959)
A Note on the Present Situation and Future Potentialities of Vital Statistics and Civil Registration Procedures of Atomic-Bomb Sufferers for Genetic and	

Radiation Studies in Japan.	54 (1960)
Papers Presented by the Staff Members of Population Problems to the Congress Symposium No. 1, The Eleventh Pacific Science Congress. (with Tachi, M., Ueda, M., Watanabe, S., Okazaki, Y., & Kono, S.)	63 (1966.10)
Rural-Urban Migration and Social Mobility in Asia	66 (1968)
A New Dimension of Internal Migration in Japan.	69 (1969)
Interim Report on Teaching and Research in Demography in Japan. (with Tachi, M.)	70 (1969)
Continuity and Transformation of Migration Behavior in Japan	71 (1970.2)
Population Policies in Japan	78 (1972.9)

2. 研究所以外の刊行物

(1) その他の公刊図書

- 『財政学』（小林幾次郎との共訳），M. デュウェルジェ著，文庫クセジュ，白水社，昭30. 1
- 『日本の人口問題 昭和30年度版』[20版]，厚文社，昭30. 5
- 『転換期の世界人口』，経団連パンフレットNo.49，経済団体連合会，昭34. 9
- 『世界の人口—構造と変動—』，文雅堂，昭35.12
- 『日本人人口の分析』，統計新書 6，一粒社，昭43. 7
- 『日本人人口の分析』 2版，統計新書 6，一粒社，昭45. 4
- 『アジア・クォタリー 第3巻 第1号 特集 1970年代におけるアジアの人口問題 [第2回国際
家族計画連盟西太平洋地域会議報告・討論抜すい]』（館稔との監修）アジア調査会編，アジア研究
会，昭46. 2
- 『人口爆発—世界人口安定化の戦略—』（岡崎陽一，鈴木啓祐，河邊宏との共訳），L.R. ブラウン著，
佑学社，昭49. 9
- 『人口の社会学』（翻訳），D.M. ヘアー著，現代社会学入門13，至誠堂，昭51. 1
- 『日本人人口の転換構造』，古今書院，昭51. 2
- 『人口問題の知識』（館稔との共著），日経文庫133，日本経済新聞社，昭51. 6
- "*The Role of Migration and Population Distribution in Japan's Demographic Transition*",
(Papers of the East-West Population Institute, No.46), Honolulu, Hawaii: East-West
Population Institute, East-West Center, 1977
- 『人口と食糧』（村松稔，渡辺篤二と共著），教養講座ライフサイエンス21，共立出版，昭52.10
- 『日本人の寿命 世界最長寿国の光と影』，日経新書304，日本経済新聞社，昭53.10
- 『日本人人口の転換構造 増補版』，古今書院，昭54. 5
- "*Migration and Settlement: 13. Japan*", (with Zenji Nanjo and Tatsuhiko Kawashima),
(RR-82-5), Laxenburg, Austria: International Institute for Applied Systems for Analysis
(IIASA), 1982
- 『日本人人口論』，時潮社，昭58. 6
- 『高齢化社会を生きる』（監修），生命保険文化センター編，統計研究会叢書第2巻，東洋経済新報社，
昭58. 9
- 『都市化構造とその変動』総務庁統計局監修，昭和60年国勢調査モノグラフシリーズ No.5，日本統
計協会，平 2. 3
- 『中国人口増加の分析』（監修），王勝今著，時潮社，昭60. 7

- 『21世紀の人口戦略 人口静止をめざして』(訳), R.M. サラス著, サイマル出版会, 昭60.11
『世界人口と開発—挑戦と展望—』(監修), P.M. ハウザー編, 翻訳委員会訳, 時潮社, 昭60.11
『高齢化社会・選択と挑戦』(監訳), A. パイファー, L. ブロンテ編, 文眞堂, 昭62.12
『人口減少—西欧文明衰退への不安』(河野稔果との監訳), M.S. タイテルボーム, J.M. ウインター
著, 多賀出版, 平元 4
『人口』(解説および大林道子との共訳), 連合国最高司令官総司令部編纂, GHQ日本占領史 第4
巻, 日本図書センター, 平 8. 2

(2) 公刊図書収載論文

- | 〈標題〉 | 〈掲載図書名, 発行所, 刊行年月〉 |
|---|---|
| 老人の社会的保護…………… | 緒方知三郎・尼子富士郎・
沖中重雄監修『老年病学第1巻』, 金原出版 (昭31. 9) |
| 人口の老齢化 (Ⅷ 人口と社会) …………… | 『人口大事典』, 平凡社 (昭32. 7) |
| 人口の職業的移動…………… | 有沢広巳・東畑精一・中山伊知郎編
『社会 第1』, 経済主体性講座第三巻, 中央公論社 (昭35. 5) |
| 序論 …………… | 館稔編『日本の人口移動』, 古今書院 (昭36.10) |
| 国内人口移動の意義と形態 …………… | 館稔編『日本の人口移動』, 古今書院 (昭36.10) |
| 大都市人口の再生産構造…………… | 館稔編
『大都市人口の諸問題—日本の人口移動〔2〕—』, 古今書院 (昭37.11) |
| 人口構造 …………… | 木内信蔵編『文化地理学』, 朝倉地理学講座8, 朝倉書店 (昭45. 9) |
| 老人世帯の動向 …………… | 那須宗一・増田光吉編『老人と家族の社会学』, 垣内出版 (昭47. 8) |
| 開発のカベとなった人口 …………… | 朝日新聞社編『地球は満員』, 朝日新聞社 (昭49. 2) |
| 人口学 (2)「文献解題」…………… | 林知己夫・池内一・森田優三・寺田和夫編
『計量的研究—我が国人文・社会科学の最近の動向—』, 南窓社 (昭49.10) |
| 人口学とライフサイエンス…………… | 日本医師会編『ライフサイエンスの進歩
第1集』, 日本医師会特別医学分科会リポート, 春秋社 (昭49.11) |
| 人口移動—過密と過疎…………… | 日本医師会編『ライフサイエンスの進歩
第2集』, 日本医師会特別医学分科会リポート, 春秋社 (昭50. 9) |
| 人口問題と老人 …………… | 長谷川和夫・那須宗一編『ハンドブック老年学』, 岩崎学術出版社 (昭50.10) |
| 都市と人口変動 …………… | 齊藤平蔵・沼田真共編『都市環境と人間』, 講談社 (昭56. 6) |
| Japan: The Slowing of Urbanization and Metropolitan Concentration (with
Tsuya, N.O.) …………… | Champion, A.G. (ed.)
<i>Counterurbanization: The Changing Pace and Nature
of Population Deconcentration</i> , Edward Arnold (1989) |

(3) 日本人口学会関係

- | 〈標題〉 | 〈誌名, 巻号, 刊行年月〉 |
|----------------------|---------------------|
| わが国戦後における出生力変動の一分析 | 日本人口学会記要 4 (昭38) |
| 労働力人口の産業間移動について | 日本人口学会会報 1 (昭42.12) |
| 人口移動と人口分布—移動行動の転換— | 日本人口学会会報 4 (昭45.12) |
| 人口移動の動向—広島県調査を中心として— | 日本人口学会会報 5 (昭46.12) |
| 人口学における情報科学の活用 | 日本人口学会会報 5 (昭46.12) |

出生力転換論	日本人口学会会報	6	(昭47.12)
人口政策の展開－1970年代の課題－	日本人口学会会報	7	(昭48.12)
人口政策論－その展開と総合への展望－	人口学研究	5	(昭57. 5)
人口転換理論統合への道	人口学研究	16	(平 5. 5)
21世紀の課題－人口をめぐる複合危機－	人口学研究	19	(平 8. 5)

(4) 人口学研究会関係

『現代の人口問題』（大淵寛との共編），シリーズ・人口学研究 1，大明堂，平 2.12

〈標題〉	〈収録図書名，発行所，刊行年月〉
アジアの人口増加……………	南亮三郎編 『アジアの人口構造』，アジア経済研究シリーズ第1集，アジア経済研究所（昭35. 8）
フランス社会学における人口論……………	南亮三郎編 『人口論史－人口学への道』，人口学研究会研究叢書Ⅰ，勁草書房（昭35.10）
アジアの出生力……………	南亮三郎編『アジアの人口増加と経済発展』， アジア経済研究シリーズ第20集，アジア経済研究所（昭37. 1）
最近における欧米の出生力……………	南亮三郎・館稔編 『世界の人口問題』，人口学研究会研究叢書Ⅱ，勁草書房（昭38. 5）
日本における人口都市化と地域開発に関する諸問題……………	南亮三郎・館稔編 『人口都市化の理論と分析』，人口学研究会研究叢書Ⅲ，勁草書房（昭40.12）
新マルサス主義と家族計画運動……………	南亮三郎・館稔編『マルサスと現代－マルサス生誕 200年記念－』，人口学研究会研究叢書Ⅳ，勁草書房（昭41. 5）
インドネシアの人口構造……………	南亮三郎編『インドネシアの人口と経済』， アジア経済調査研究双書第144集，アジア経済研究所（昭42.11）
労働力の産業間移動……………	南亮三郎・館稔編 『労働力人口の経済分析』，人口学研究会研究叢書Ⅴ，勁草書房（昭43.10）
人口政策の展開……………	南博士祝賀記念論文集刊行委員会編『人口と経済と社会』， 南亮三郎博士人口学体系完結並びに喜寿祝賀論文集，千倉書房（昭48.12）
人口転換の要因……………	南亮三郎・上田正夫編 『日本の人口変動と経済発展』，人口学研究シリーズⅠ，千倉書房（昭50. 9）
世界人口の将来と国際会議……………	南亮三郎・上田正夫編 『世界の人口政策と国際社会』，人口学研究シリーズⅡ，千倉書房（昭51.12）
人口移動の転換理論……………	南亮三郎・上田正夫編 『転換途上の日本人口移動』，人口学研究シリーズⅢ，千倉書房（昭53. 1）
現代欧米の人口思想……………	南亮三郎・岡田実編 『人口思想の形成と発展』，人口学研究シリーズⅣ，千倉書房（昭55.10）

(5) 国連および家族計画国際協力財団（JOICEFP）関係

『世界人口年鑑』[1971 第23集－1974 第26集]（翻訳監修），国際連合統計局原著編集，原書房，昭49. 7－昭51. 6

『世界人口白書』[1991-2005]（日本語版監修），国連人口基金 [原著]，ジョイセフ日本語版制作，平 3－平17

〈標題〉	〈収録図書名, 発行所, 刊行年月〉
Migration, Distribution of Population and Development, with Particular Reference to Japan	United Nations, Economic and Social Commission for Asia and the Pacific, "Population Strategy in Asia: The Second Asian Population Conference, Tokyo, November 1972, Report, Declaration and Selected Papers", Asian Population Study Series No.28 (1975)
Population Policy	United Nations, Economic and Social Commission for Asia and the Pacific "Population of Japan", Country Monograph Series No.11 (1984)

〈標題〉	〈誌名, 巻号, 刊行年月〉
Japan's Three Transitions (with Okita, S.)	Populi [UNFPA] 8-3 (1981)
Asia: Current and Future Trends (with Okita, S. and Ogawa, N.)	Populi [UNFPA] 9-3 (1982)
Population Aging in Japan with Reference to China	<i>Asia-Pacific Population Journal</i> 2-3 (1987)
中国高齢化対策研究開発プロジェクトが発足—その経緯と今後の方向—	世界と人口 131 (昭59.12)
中国高齢化プロジェクト五ヶ年計画/スタートの一年間 1 高齢化問題対策研究の意義	世界と人口 147 (昭61. 4)
人類史を彩る中国の行動—人口11億の日をめぐって—	世界と人口 183 (平元. 5)
第二の人口危機—高齢化セミナーをめぐって	世界と人口 204 (平 3. 3)
人口爆発に挑戦するアジア	世界と人口 223 (平 4.10)
苦難と期待のベトナム展望—アジアの最後のフロンティア—	世界と人口 231 (平 5. 6)
リプロダクティブ・ヘルズ旋風と日本	世界と人口 257 (平 7. 8)
「国連人口賞」受託演説1997年 6 月10日	世界と人口 280 (平 9. 7)
カイロ会議と21世紀の人口問題—崩壊しつつあるバランス回復の処方箋	世界と人口 291 (平10. 6)
人口爆発という地球規模的課題	世界と人口 325 (平13. 4)

(6) 日本大学関係

『21世紀日本の針路』(監修), 日本大学人口研究所, 古今書院, 昭56.11

『日本大学総長指定の総合研究「21世紀日本の針路」中間報告書(第2次増補改訂)』(編), 総長指定の総合研究「21世紀日本の針路」特別委員会, 昭57.10

『アセアン諸国の人口転換と人口政策研究序説』, 総長指定の総合研究「アセアン世界と日本」研究報告シリーズ No.3, 昭59. 3

『転換期のアジア人口: 出生力低下の構造と展望』(趙利済との監訳), 日本大学人口研究所編, 日本大学人口研究所叢書 1, 時潮社, 昭61. 3

〈標題〉	〈収録図書名, 発行所, 刊行年月〉
家族の動態と社会変動—21世紀への展望—.....	日本大学総合科学研究所編

- 『現代日本文化と家族』, 日本大学総長指定の総合
研究「現代日本文化の特質に関する研究」報告書 (平 4. 3)
- 多文化構造の展開と日本文化—冷戦後における文化変動—……………日本大学精神文化研究所
『日本文化論への接近』, 研究叢書 2 (平 6. 3)
- 家族変動の牽引車・女性—伝統とリベラルの交錯する重層構造—……………日本大学総合科学
研究所編, 『「現代家族に関する全国調査」報告書—進行する静かな家族
革命—』, 日本大学総長指定の総合研究「21世紀人類の豊かさの探求」(平 6. 9)
- 世界人口からみた都市化の現状と展望—その多様化と収斂—……………小嶋勝衛, 永野征男編,
『都市化の現状と将来』, 大明堂 (平 7. 3)
- 中国の人口転換と経済発展のメカニズムに関する研究……………日本大学総合科学研究所編
『アジアのダイナミズムと世界』, 総長指定の総合研究
「アジアのダイナミズムと世界」平成 8 年度報告書 (平 9. 6)

〈標題〉	〈誌名, 巻号, 刊行年月〉
人口政策と国連の活動	経済集志 46-2 (昭51. 7)
Demographic Aging 序説	日本大学経済学部経済科学研究所紀要 2 (昭52.12)
人口問題と人口研究の世界的動向—東京, Vichy, Hawaii, Laxenburg, Mexico, Bergen の各国際会議を通じて—	経済集志 47-4 (昭53. 1)
人口移動の新しい展開—日本における人口移動の構造変動	日本大学経済学部経済科学研究所紀要 3 (昭53.12)
高齢者社会論序説	日本大学経済学部経済科学研究所紀要 4 (昭54.12)
わが国の最近の出生力変化に関する研究 (小川直宏, 小林和正との共著)	日本大学経済学部経済科学研究所紀要 12 (昭63. 3)
日本文化形成要因の研究(1)	日本大学精神文化研究所紀要 23 (平 4. 3)
文化の冷戦構造から地球文化型社会へ	日本大学精神文化研究所紀要 25 (平 6. 3)
日本文化形成要因の研究(2)	日本大学精神文化研究所紀要 26 (平 7. 3)
人口爆発の人口学—21世紀の世界人口—	社会学論叢 137 (平12. 3)

(7) アジア人口・開発協会関係

- 『東南アジア諸国等人口・開発基礎調査報告書』[タイ国, インド国, インドネシア国, 中華人民共
和国, ネパール国, バングラデシュ国, フィリピン国, ベトナム国, スリランカ国] (主査), 昭
60. 2—平 6. 3
- 『アジア諸国からの労働力流出に関する調査研究報告書』[フィリピン国, タイ国, マレーシア国,
インドネシア国, 中華人民共和国, スリランカ国] (委員長), 昭63. 3—平 5. 3
- 『アジア諸国の人間資源開発と労働力に関する調査研究報告書』[フィリピン国, ベトナム国, イン
ド国, ラオス国, マレーシア国] (委員長), 平 6. 3—平10. 3
- 『アジア諸国の都市化と開発調査報告書』[タイ国, ネパール国, フィリピン国, マレーシア国] (主
査), 平 7. 3—平15. 3
- 『国連人口会議20年の軌跡—ブタペストからカイロへ—』, APDA RESOURCE SERIES 1, 平 8.10
- 『アジア諸国の高齢化と保健の実態調査報告書』[大韓民国, 中華人民共和国 (上海を中心に), タイ
国] (主査), 平10. 3—平13. 3
- 『アジア諸国の人口政策に関する比較研究総括集』, 平10.12

〈標題〉	〈誌名, 巻号, 刊行年月〉
国連国際人口会議20年の軌跡 1	人口と開発 51 (平 7. 4)
国連国際人口会議20年の軌跡 2 合意の大合唱と小さな波紋—メキシコ・シティ国際人口会議—	人口と開発 52 (平 7. 7)
国連国際人口会議20年の軌跡 3 —女性開発に血路を開いたカイロ会議—	人口と開発 56 (平 8. 7)
高齢化社会は究極の社会 世界と日本(1) 基本戦略と逆三角形の論理	人口と開発 66 (平11. 1)
高齢化社会は究極の社会 世界と日本(2) 基本戦略と逆三角形の論理	人口と開発 67 (平11. 4)
人口から見た20世紀と21世紀—人口爆発の2世紀	人口と開発 70 (平12. 1)
人口問題と政治—大転換の世紀—	人口と開発 85 (平16. 1)

(8) 毎日新聞社人口問題調査会関係

- 『アジアの人口 人類の危機を招来するか』(監修), みき書房, 昭49. 4
『日本の人口 人類の危機を招来するか』(監修), みき書房, 昭49. 7
『世界の人口 人類の危機を招来するか』(監修), みき書房, 昭49. 8
『毎日新聞社第14回全国家族計画世論調査報告書』(監修), 資料第111号, 昭52.11
『毎日新聞社第15回全国家族計画世論調査報告書』(監修), 資料第112号, 昭54.12

〈標題〉	〈掲載図書名, 発行所, 刊行年月〉
Introduction……	<i>Summary of Tenth National Survey on Family Planning, Series No.21</i> (1971)
Mutual Attitudes between Parents and Children ……	<i>Summary of Tenth National Survey on Family Planning, Series No.21</i> (1971)
Family Planning ……	<i>Summary of Tenth National Survey on Family Planning, Series No.21</i> (1971)
調査対象の概況……	『毎日新聞社 第11回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第108号, 毎日新聞社 (昭47. 5)
親子相互間の態度……	『毎日新聞社 第11回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第108号, 毎日新聞社 (昭47. 5)
家族計画……	『毎日新聞社 第11回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第108号, 毎日新聞社 (昭47. 5)
ニクソン大統領の「人口教書」 ……	『危機に立つ人口』, 毎日新聞社 (昭47. 6)
人口構造革命とその衝撃 ……	『危機に立つ人口』, 毎日新聞社 (昭47. 6)
情報社会の中の人口移動 ……	『危機に立つ人口』, 毎日新聞社 (昭47. 6)
人口分布に新しい動き ……	『危機に立つ人口』, 毎日新聞社 (昭47. 6)
第十六回国連人口活動委員会について ……	『危機に立つ人口』, 毎日新聞社 (昭47. 6)
二児制強化を示す<毎日新聞社第十一家族計画世論調査>	『危機に立つ人口』, 毎日新聞社 (昭47. 6)
調査の概要と親・子間の態度 ……	『日本の人口革命』, 毎日新聞社 (昭47. 7)
総説 第12回調査の意味するもの ……	『日本の人口革命』, 毎日新聞社 (昭47. 7)
現存子供数と理想子供数 ……	『日本の人口革命』, 毎日新聞社 (昭47. 7)
避妊の動向……	『毎日新聞社第12回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第109号 (昭48.12)
子供に対する態度……	『毎日新聞社第12回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第109号 (昭48.12)

住宅規模と出生態度……『毎日新聞社第12回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第109号	(昭48.12)
序説……………『日本の人口問題』, 至誠堂	(昭51. 2)
調査の概要と親・子供間の態度……………『日本の人口問題』, 至誠堂	(昭51. 2)
出生力への動向—第11回から第13回までの調査を中心として—	
	『日本の人口問題』, 至誠堂 (昭51. 2)
理想子供数……………『毎日新聞社第16回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第113号	(昭56)
総説……………『毎日新聞社第17回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第114号	(昭59. 8)
総説……………『毎日新聞社第18回全国家族計画世論調査報告書』, 資料第115号	(昭61. 8)
総説：少産志向はどこまで続くか……………『毎日新聞社	
	第19回全国家族世論調査報告書』 (昭63. 9)
出生力低下と人口動態均衡論……………『記録日本の人口少産への軌跡	
	家族計画世論調査・20回全資料』, 毎日新聞社 (平 2.10)
日本の人口転換—国際的意義と貢献—……………『記録日本の人口少産への軌跡	
	毎日新聞社家族計画世論調査・21回全資料』, 毎日新聞社 (平 4. 8)
家族変動の底流……………『新しい家族像を求めて	
	毎日新聞社・第22回全国家族計画世論調査』 (平 6.10)
総論：日本人口の出生力転換—価値観の変動と行動—……………『「平等・共生」の新世紀へ	
	毎日新聞社・第23回全国家族計画世論調査』 (平 8.10)
世代間扶養・援助関係構造の転換……………『「家族」の未来”ジェンダー”を超えて	
	毎日新聞社・第24回全国家族計画世論調査』 (平10. 8)
「家族計画世論調査」50年の意義—人口転換の行動と理論の探求—……………『日本の人口	
	—戦後50年の軌跡— 毎日新聞社・全国家族計画世論調査 第1回～第25回調査結果』 (平12.10)
世代間援助・協力関係構造……………『日本の人口	
	—戦後50年の軌跡— 毎日新聞社・全国家族計画世論調査 第1回～第25回調査結果』 (平12.10)
転換と挑戦—流動する世界の人口……………『少子高齢社会の未来学』, 論創社	(平15.12)

(9) その他の雑誌収載論文

死亡率はどこまで下がるか	統計	4-7	(昭28. 7)
社会保障と人口問題	週刊社会保障	4-9	(昭25. 9)
社会保障制度の負担とその財政的条件	社会保障研究	2-1	(昭27. 6)
社会保障の人間価値論的分析と死亡率	週刊社会保障	7-2	(昭28. 2)
都市の保健度と経済構造	都市問題	45-5	(昭29. 5)
人口学的視角よりみたる都市産業政策	都市問題	45-9	(昭29. 9)
死亡構造の人口学的分析序説	拓殖大学論集	7・8	(昭30. 2)
日本の人口増加と経済発展との関係についての経済=人口学的分析	拓殖大学論集	9	(昭30.11)
年齢現象の人口学的, 社会経済学的考察—主として日本の事実について—	寿命学研究会年報	19-56	(昭31. 7)
都市研究における人口・経済的方法論について	都市問題	47-9	(昭31. 9)
産業と人口	公衆衛生	19-1	(昭31.12)
三つの世界の旅	統計	9-4	(昭33. 6)
世界の人口問題	海外事情	6-9	(昭33. 9)

労働力率の年齢構造	寿命学研究会年報	1958	(昭33. 9)
わが国最近の出生率について	統計	9-12	(昭33.12)
アジアと中南米の人口－後進地域における人口問題－	海外事情 (拓殖大学)	7-7	(昭34. 7)
パーダの社会・パキスタン	厚生指標	6-15	(昭34.12)
出生力と国勢調査	統計	11-8	(昭35. 8)
わが国における人口大都市集中の特質－人口移動の経済・人口学的考察	都市問題	52-1	(昭36. 1)
出生力分析の意義と方法(1)	統計	12-5	(昭36. 5)
出生力分析の意義と方法(2)	統計	12-6	(昭36. 6)
放射能と人口問題－日本の人口問題に関連して－	海外事情 (拓殖大学)	9-7	(昭36. 7)
出生力分析の意義と方法(3)	統計	12-7	(昭36. 7)
出生力分析の意義と方法(4)	統計	12-8	(昭36. 8)
日本の人口研究と国際的立場	統計	13-3	(昭37. 3)
老人の就業の問題	厚生指標	9-11	(昭37. 9)
地域開発と労働力人口－労働力人口の地域分析	都市問題	53-11	(昭37.11)
アジアの人口問題と近代化との関係	海外事情 (拓殖大学)	11-8	(昭38. 8)
アジア人口の増加と構造の特徴	統計	15-11	(昭39. 3)
アジアの人口問題	海外事情 (拓殖大学)	12-7	(昭39. 7)
都市における第3次産業人口の変貌－その動向と分類上の問題点	都市問題	55-8	(昭39. 8)
都市人口における家族循環研究序説	都市問題研究	16-8	(昭39. 9)
昭和40年と日本人口の転換期	統計	16-8	(昭40. 8)
メガロポリスの人口学	都市問題研究	17-9	(昭40. 9)
アジアの人口予測	アジア経済	6-2	(昭40.12)
都市の人口の社会的なとらえ方	日本数学教育学会誌	47	(昭40.12)
国際連合世界人口会議1965 世界における人口移動	厚生指標	13-1	(昭41. 1)
外国人の日本研究1 アイリーン・B・トイバー博士「日本の人口」社会学評論		16-3	(昭41. 3)
人口問題・マルサスの悪夢－アジアの現実－12－	朝日ジャーナル	8-35	(昭41. 8)
第11回太平洋学術会議 “太平洋地域における人口問題” の特徴と問題点	厚生指標	13-12	(昭41.10)
日本の人口移動	社会学評論	17-1	(昭41.10)
太平洋地域の人口	統計	17-10	(昭41.10)
都市研究における人口学 (都市学成立の理論と課題)	日本都市学会年報	1	(昭41.10)
世界における人口問題と食糧問題	海外事情 (拓殖大学)	15-11	(昭42.11)
世界食糧生産と人口問題	地理 (古今書院)	12-11	(昭42.11)
都市問題と人口問題	海外事情 (拓殖大学)	16-2	(昭43. 2)
アジアの人口増加と経済開発	国土	17-4	(昭43. 3)
大都市圏内大都市の人口移動の研究－川崎市の実態調査から－ (都市学の進展と地域理論) (岡崎陽一, 内野澄子との共著)	日本都市学会年報	2	(昭43. 3)
人口構造の変化と定年および老人の問題－都市を中心として	都市問題研究	20-5	(昭43. 5)
過疎問題を考える	統計	19-10	(昭43.10)
アジアにおける人口移動と都市化	日本エカフェ協会調査資料月報	1-12	(昭43.12)
人口再分布の新動向と広域自治圏構想	地域開発	56	(昭44. 5)

わが国人口動向と今後の課題－人口老年化と新しい人口移動傾向－	東商	265	(昭44. 7)
家族計画と人口問題－アジアを中心に	海外事情 (拓殖大学)	17-8	(昭44. 8)
首都圏における人口移動の現勢と将来予測	マスセールス	9-10	(昭44.12)
人口移動の新次元と人口分布再編成	地域開発	64	(昭45. 1)
人口問題からみた世界と日本	統計	21-1	(昭45. 1)
70年代の人口問題	統計	21-6	(昭45. 6)
情報化社会と人口移動 近代化への変革	大阪の統計	259	(昭45. 8)
労働力需給と人口移動	運輸と経済	30-9	(昭45. 9)
反省期にきたアジアの家族計画	朝日アジアレビュー	1-3	(昭45. 9)
人口移動の転換仮説	労務研究	23-11	(昭45.11)
日本列島における人口分布と人口移動の新秩序－昭和45年国勢調査結果を中心として	地域開発	78	(昭46. 3)
メガロポリスの形成と崩壊	中央公論	86-6	(昭46. 5)
アジアの人口問題と家族計画	日本エカフェ協会調査資料月報	4-6	(昭46. 6)
日本人の過密・過疎化の動向とその変化	統計	23-1	(昭47. 1)
最近における地方都市人口の変動－地方拠点・中核都市を中心に	都市問題	63-8	(昭47. 8)
新次元のアジア人口問題－第2回アジア人口会議を中心として	日本エカフェ協会調査資料月報	5-12	(昭47.12)
人口の適度論から限界論、そして政策論への転換	公衆衛生	37-3	(昭48. 3)
第2回アジア人口会議について－前進する人口政策－	厚生 の 指標	20-3	(昭48. 3)
日本の人口問題と人口政策	国土	22-4	(昭48. 3)
大都市圏の人口移動はどうなるか－国勢調査結果からみた東京・大阪・名古屋の動態	運輸と経済	33-7	(昭48. 7)
人口政策学の課題	経済セミナー	220	(昭48. 9)
人口・資源－世界の中の位置づけとしての日本	地理 (古今書院)	18-11	(昭48.11)
世界の人口問題	環境情報科学	3-2	(昭49. 3)
世界の人口－その動向と問題点	統計	25-3	(昭49. 3)
世界人口年を迎えて	厚生 の 指標	21-4	(昭49. 4)
限りある地球と爆発する人口－第3回世界人口会議の問題点	世界週報	55-27	(昭49. 7)
分裂から妥協への道－国連世界人口会議に出席して	世界週報	55-38	(昭49. 9)
世界人口会議のウーマン・パワー	潮	185	(昭49.11)
バンドンからブカレストまで	海外事情 (拓殖大学)	22-12	(昭49.12)
都市と人口問題	新都市	29-1	(昭50. 1)
人口学的にみたライフサイクル	公衆衛生	40-10	(昭51.10)
都市化の過程	統計	27-12	(昭51.12)
高齢化社会の展望	統計	30-2	(昭52. 1)
人口政策 その国際的動向	からだの科学	76	(昭52. 7)
都市の人口学的変動の新段階	都市問題研究	29-8	(昭52. 8)
人口学における“質”	行動計量学	5-1	(昭52. 9)
人口問題を考える本	地理 (古今書院)	22-12	(昭52.12)
国際関係における人口と雇用	国際問題	219	(昭53. 6)
世界の人口問題－Globalism の認識と課題	海外事情 (拓殖大学)	26-7	(昭53. 7)

新人口維新と二一世紀の課題	地理 (古今書院)	24-3	(昭54. 3)
昭和55年国勢調査をめぐる諸問題	統計	30-5	(昭54. 5)
人口と食糧	海外事情 (拓殖大学)	27-7	(昭54. 7)
将来人口推計について	統計	30-3	(昭54.11)
人口移動とUターン	統計	31-3	(昭55. 3)
曲り角にきた日本人口～80年代の課題～	統計の泉 (広島県)	31-358	(昭55. 5)
人口移動と国勢調査	統計	31-8	(昭55. 8)
人口問題の新しい動向ー人類の挑戦	産婦人科の世界	32-12	(昭55.12)
高齢者社会の課題ー選択なき社会への対応ー	厚生 の 指標	28-2	(昭56. 2)
南北問題と人口のジレンマ	世界経済	36-7	(昭56. 7)
日本の人口構造はどう変わったか	統計	32-9	(昭56. 9)
壮大な人口計画を進める中国ー“一人っ子政策”がもつ経済的意味			
	エコノミスト	59-53	(昭56.12)
年齢構造論と高齢化人口学	老年社会科学	5	(昭58.11)
子ども人口の変遷	統計	35-1	(昭59. 1)
中国の人口と寿命	医学のあゆみ	132-13	(昭60. 3)
寿命論ーその意味するものー	統計	36-5	(昭60. 5)
高齢人口の死亡動向とその社会老年学的意義	老年社会科学	7	(昭60. 9)
第1回～第3回生命表の改訂表による寿命 (明治～大正)	厚生 の 指標	33-1	(昭61. 1)
これからのわが国における人口動態ー2010年までの予測からー	医療	2-6	(昭61. 2)
世界の老人13中国	エイジング	4-2	(昭61. 9)
都市自治体と人口問題	都市政策 (神戸市都市問題研究所)	45	(昭61.10)
一人っ子政策のもたらしたもの	国際協力 (国際協力事業団)	382	(昭62. 2)
日本経済と人口の奇蹟	敬愛大学経済文化研究所所報	1	(平 2. 3)
人口問題の解決こそ環境破壊を防ぐ道ー「地球型社会」の構成員としての自覚を			
	エコノミスト	70-20	(平 4. 5)
人口メタボリズムと都市ダイナミックスー大都市東京を中心として			
	都市政策 (神戸市都市問題研究所)	74	(平 6. 1)
人類の直面する三大危機とカイロ会議の意義	境情報科学	24-1	(平 7. 3)
人口爆発の新段階と21世紀ー残された半世紀	経済学論纂	40-5・6	(平12. 3)
第17回平成12年度国勢調査の意味ー大転換期の羅針盤ー	統計	51-7	(平12. 7)